

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成28年 住職年頭挨拶



丙申 謹賀新年

曹洞宗群馬県宗務所長を拝命して、たちまち一年が経過いたしました。様々な人の力を借りながら、責務を果たさせていただいており、有難く思っております。

仁叟寺は、92歳を超えた東堂夫妻と65歳を過ぎた我々住職夫妻、副住職夫妻、そして男の子三人の孫と四代がおります。仏様のお蔭で無事に



大本山總持寺にて

暮らさせていただいております事に感謝しています。折に触れて、極楽浄土に旅立たれた、今迄お世話になった方々のお顔が、特に笑顔ばかりが思い出されます。あの人、この人、皆やさしい人ばかりでした。受けた情け、頂戴したご恩を、胸に温めつつ、これから少しずつ恩返しの人生を刻んでこうと、新春に心新たにいたすものであります。

檀信徒そしてご縁に繋がる皆様のご多幸とご健勝を、御本尊様に念じております。 合掌

平成28年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/13 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日)
第35回子供禪の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日
梅花講・琴教室・華道教室
- ※群馬県宗務所執務日
月・水・金曜日

平成二十八年 年回表

一周忌	平成二十七年	二十三回忌	平成六年
三回忌	平成二十六年	二十七回忌	平成二年
七回忌	平成二十二年	三十三回忌	昭和五十九年
十三回忌	平成十六年	五十回忌	昭和四十二年
十七回忌	平成十二年	百回忌	大正六年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
 ※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

大本山總持寺二祖峨山禪師650回大遠忌法要併修 県宗務所特派布教師巡回（会場、仁叟寺）



↑ 特派布教師法話会

曹洞宗群馬県宗務所主催の特派布教師巡回。当地は第14教区（新井正道教区長）で、会場は仁叟寺にて10月2日に執り行われ、大勢の皆様にご来山いただきました。特派布教師の島根県常光寺住職野津雅史老師には、いのちの尊さのご法話を賜りました。

また同法話会に先立ちまして、教区で大本山總持寺二祖峨山禪師650回大遠忌法要を修行いたしました。昨年は、同じく仁叟寺を会場に、教区にて予修法要が厳修されました。同法要は、本年が正当の年であり、本法要は10月20日に、大本山總持寺に於いて、法定聚会と呼ばれる大法要にて修行さ

れ、住職も群馬県宗務所長として、同法要に随喜いたしました。

次回は、瑩山禪師700回の大遠忌法要が、平成34年に勤められる予定となっております。曹洞宗門挙げての50年毎の大法要ですので、檀信徒の皆様もご承知おきいただければ幸いです。

法話会の後に、引き続き、当寺役員会をお勤めいたしました。役員の皆様、お疲れ様でした。

県宗務所寺族会秋季研修会～日航機墜落事故慰 霊法要と飯塚訓氏講演会～（会場、仁叟寺）



↑ 講演会の様子

去る10月26日、曹洞宗群馬県宗務所寺族会（明峰敦子会長）の秋季研修会が、仁叟寺にて修行されました。

はじめに開講式及び日航機墜落事故物故者慰霊法要を本堂にて勤めました。後、同事故で身元確認班長として陣頭指揮を執られ、

著作も多数ある元群馬県警本部課長の飯塚訓氏による講演会。わかりやすく丁寧な語り口で、事故の凄惨な状況と遺された遺族の方々との交流等、講演をいただきました。なお、昨年は上野村御巢鷹山で起きた日航機墜落事故より30年となる節目の年でもありました。

昼食を欣光閣で召し上がっていただき、午後は世界遺産の富岡製糸場へ見学。各寺院を護っておられる寺族様方の、良き研修となりました。



↑ 上毛新聞に同研修会が記事になり、掲載されました

群馬県宗務所主催檀信徒研修旅行報告

(大本山總持寺及び伊豆修禪寺) 寄稿・矢島正義氏

平成27年11月11日から12日の2日間、曹洞宗大本山總持寺と伊豆修禪寺の研修旅行に参加してきました。バス9台、約330名の参加者と共に、午前10時30分頃に鶴見にある大本山總持寺へ到着しました。總持寺の敷地面積15万坪という広さに、いつ来ても圧倒されます。曹洞宗大本山總持寺は、平成27年に峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌を奉修しております。峨山禪師は、總持寺の第二代としてその護持に務め、曹洞宗発展の礎を築かれた人物です。私達



大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師650回大遠忌 群馬県宗務所本山参拝団 平成27年11月11日

は本殿に上がり、峨山禪師様の法要に参加し、お焼香まで出来たことに、感謝と喜びを覚えました。とにかく200名以上のお坊さんと500名以上の檀信徒が参加して行う法要は、驚きに耐えません。さらに、總持寺の禪師様より「先祖代々諸精霊位」を頂き、感激いたしました。(謹んで自宅の仏壇に供え、報告いたしました。)その後、精進料理を頂き、宿泊地である熱海後楽園ホテルに向かいました。ホテルは、読売ジャイアンツが使用する大きなホテルです。

宴会では、300人以上が集い、宗務所長である仁叟寺住職の挨拶から始まりカラオケ等、楽しく過ごしました。翌日、伊豆修禪寺に向かいました。修禪寺では、住職にお話を伺い、弘法大師によって開創され、470年間真言宗、その後中国から蘭溪道隆禪師が入山し臨濟宗に改宗、二百数十年間続き、その後室町時代に菑山城主北条早雲が隆溪繁紹禪師を住職として曹洞宗に改宗、500年以上経過し、現在に至るとのお話を伺いました。また、素晴らしい庭園も拝観させていただきました。少しの自由時間に、北条政子が建てた指月殿・源頼家の墓等を見学し、修禪寺を後にしました。その後、沼津海産物店により、干物等を購入し、群馬に帰ってきました。



↑ 伊豆修禪寺本堂に於いて、吉野真常住職よりお話をいただきました

最後に、個人旅行では経験することのできない、素晴らしい研修旅行となりました。

仁叟寺秋の研修参拝旅行は、一昨年の第10回をもって一先ず休止となりました。多くの方々に参加していただき、当寺恒例の日帰り研修参拝旅行となり、有難く感謝しております。昨年からは、上記のとおり住職が宗務所長を勤めます曹洞宗群馬県宗務所の研修旅行を行っております。県内各地より多くの方々に参加し、バス10台程で行っている恒例の研修参拝旅行です。今年秋にも、群馬県宗務所にて企画され予定をしております。是非とも奮ってのご参加を宜しくお願い申し上げます。

高崎書道会 于右任書法研究訪日団来寺



↑ 仁叟寺に奉納された中国陝西省西安の有名な書家・鐘明善師の紅白対幅

去る11月30日、高崎書道会（天田研石会長）の招聘により、中国陝西省西安より有名な書家・鐘明善師をはじめとする訪日団及び関係者50名が、仁叟寺を訪れました。

一行は、まず当山檀信徒で作品はもとより「筆塚」や「梵鐘銘」等菩提寺に多くの貢献をされた、故金澤子卿師

の供養を本堂及び墓所にてつとめました。その後、氏の師匠である于右任師（書家・政治家で国民党の重鎮。国共対立により台湾に移り、当地で活躍。）の書をご覧になり、境内や諸々の堂宇を拝観されました。その後、一行は金澤師の草庵を見学し、高崎市長に表敬訪問され、書を通じた文化交流を行いました。

また、鐘明善師より高崎書道会を通じ、紅白の対幅を当寺に寄進されました。同会は、故金澤子卿師の遺志を継ぎ、奥様の金澤清華師、御子息の金澤仲訓師が書の伝統を守っておられます。



↑ 境内を散策する一行

上野村御巢鷹山日航機墜落事故30年慰霊登山

7月22日(水)

御巢鷹日記

御巢鷹の尾根登山道 中腹の遺族休憩所に今月520体の仏像が並んだ。埼玉県の夫妻から贈られ慰霊の園に展示していたもので、展示棟の改修に伴い尾根に移された。大きさも表情もさまざま。520人の命を込めて作られた。

30

僧侶ら15人 慰霊登山法要

山に「染みこむ」祈り

きよの尾根にも、連日火葬が行われ、祈りの声が響き渡った。曹洞宗宗務所長で仁叟寺（高崎市吉井町）の波辺啓司住職（64）の呼び掛けで、僧侶ら15人が事故から30年の節目の年に慰霊登山法要を営んだ。

「あの夏のこと、毎年必ず思い出すと話すのは藤岡市仏教会の竹市文光会長（69）。同会の僧侶は事故当時、

昨年、多野郡上野村御巢鷹山で起きた日航機123便墜落事故より30年の節目の年でした。住職が群馬県宗務所長をつとめており、7月に宗務所役員と教区寺院及び寺族会有志が慰霊登山を行いました。一行は、慰霊の園にて法要後、墜落現場である昇魂之碑まで慰霊登山をし、碑前にて更に供養法要を営みました。

また10月には、副住職が会長をつとめております群馬県青年会の有志が、同じく慰霊登山を修行しました。

宗務所では、秋の寺族会研修会に事故調査班をつとめた飯塚訓氏の講演会を仁叟寺にて行いました。また、藤岡市みかぼみらい館で500名の方々が見られました県梅花流詠讃歌奉詠大会では、梅花流詠讃歌をお唱えし、慰霊法要を宗務所長導師のもと、

つとめられました。30年経過いたしますが、520名もの命が犠牲になった事故を忘れることなく伝えていければと思っております。

30年 日航機墜落

若い僧 鎮魂の祈り

宗務所 青年会

慰霊法要の様子

昇魂之碑の前で読経する僧侶たち

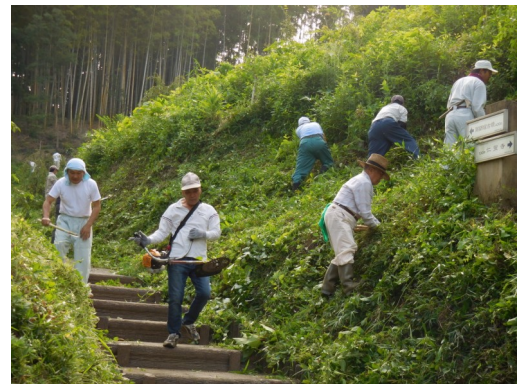
井瀬 賢さん

ブドウ畑探

高崎市里山元気再生事業報告



← 奉仕作業役員集合写真



↑ おてんま風景（8月9日）
（もみじ山下草刈り）

仁叟寺の竹林を整備し、地元と

檀信徒の方々の協力をもって行っております高崎市の補助事業、里山元気再生事業の継続が昨年に決まりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラおよそ300株を植樹いたしました。なお、作業に当たっては、特に矢島巖さん、小沢昇さん、金井正男さん、加藤壮士さんに一方ならぬご尽力をいただいております。

仁叟寺総代会役員会に併せ、昨年の春に1度、夏に2度の計3回に亘り、おてんま（吉井地域の方言、共同作業や普請の意）を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等の作業を総代人さん、役員さん、地元の方々と共に行い、汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳も多数遺されており、また山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。里山再生に相応しい「もみじ山歴史公園」に向けた整備が、着々と進められております。

自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



← ボランティア作業風景（福島県南相馬市小高地区）



去る10月29日から30日に掛けて、福島県南相馬市に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会有志9名と福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長ほか有志、2日目は大分県の教職員有志と共に、福島県被災地域である南相馬市小高地区にて奉仕活動をさせていただきました。

今回も南相馬市の新祥寺野田精頭副住職に窓口になっていただき、作業に当たって準備を行っていただきました。有難うございました。

両日に亘って、ボランティア作業をいたしました。小高地区では、今春より避難されている住民の帰還希望者を受け入れる為、除染作業が急ピッチで進められております。

総代長新年挨拶

新年明けましておめでとうございます

昨年は各地で自然災害が発生し大きな被害が
出ましたが、菩提寺のご加護のお蔭で無事新年
をお迎え出来、心からお慶び申し上げます。

仁叟寺仏像修復最後の干手観音様の帰山が遅
れております。解体した胎内からは実証的なもの
はありませんでしたが、日本の佛師さんが作った
ものではなく、渡来佛であり徳川家光の時代に修
復が行われたようであります。120以上の部品か
ら出来ておりますので、手間がかかり帰山が遅れ
ております。お待ち下さい。

3月に修行された大般若会に先立ち、副住職夫
妻の長男哲道君(10歳)の得度式が行われまし
た。いきいき立派に勤められ僧名「大光哲道上
座」を、得度の師匠仁叟寺の住職より授与されま
した。この機に後継者が育ち、これからの100年は
安泰であり、恵まれた寺院は無いと思います。檀
信徒皆様と共に祝い申し上げます。

激動の時代を43年間寺の護持発展運営し、多
大なる功績を残した渡辺石橋大和尚様の法要
が、大本山總持寺副貫首石附周行老師を導師とし、60名の御寺院様をお迎えして行われました。

檀信徒皆様も大勢ご
出席、ご焼香頂き、有
難うございました。



先々代渡辺石橋大和尚50回忌法要

昨年6月に大本山總持寺副貫首石附周行老師導師のもと厳修
されました、先々代仁叟寺29世再中興雲巖石橋大和尚50回忌
法要の様子が、仏教系マスコミである文化時報記事として取り
上げられました。併せて修行されました、大本山總持寺二祖峨
山韶碩禪師650回大遠忌にも記事中に触れております。

行雲流水 (編集後記)

明けまして、おめでとうございます。
私儀 昨年より群馬県曹洞宗青年会の会長
として任に当たらせていただいております。
本年は、その仕上げの年となり、平成29年の
青年会創立55周年事業に向けて、更に精進を
させていただこうと思っております。同事業
は、宗務所様、梅花部様と協力して修行する

筆者・新井徳衛総代長



これからの仁
叟寺は、更に地
域の皆さんに開
かれた寺院とし
て県内寺院では
初めて避難所と
して指定を受
け、災害時のよ
りどころとしてその役

割を果たすこととなりました。ほか、子供禅の集
いや婚活イベントを行うなど活動をしています。

また、年中行事も順調に進められて参りまし
た。特に住職様には、檀務に宗務に活躍され益々
円熟味を増し力量が輝いて参りました。多忙な
日々でありますので、健康には充分気を付けて
頑張ってくださいよう、ご祈念致します。最後
になりましたが、誠意を含めて一生懸命精進い
たしますので役員の皆様、檀家の皆様のご指導
とご支援の程、宜しく願い申し上げます。

仁叟寺総代人一同

- | | | |
|------|------|------|
| 新井徳衛 | 篠崎和男 | 矢島正義 |
| 森久 | 堀越兼一 | 神保堯男 |
| 橋爪勝 | 酒井範明 | 神保武長 |

← 七月一日
付文化時報

編集人 副住職 渡辺龍道

「梅花授戒会」と「現代名
僧墨蹟展」の二つがその柱
となります。



本年も副住職として住職
を補佐し、しっかりとお勤めさせていただきま
すので、檀信徒の皆様始め関係各位の温かいご
協力を、引き続き宜しく願い申し上げます。